

リレーエッセイ

ハードルを越えて

た なか まさ あき
田中 昌昭さん
(南九州市)



大学一年の夏休み、バイク事故により脊髄を損傷しました。事故当初は「2・3カ月もすれば怪我も治りすぐに復学できる」と思い込んでいましたが、現実には厳しく退院どころか寝たきりの入院生活。車椅子に乗れるようになってからも、病院から出るのが怖くて引きこもりがちになりました。その後、家族や友人の支えもあり、徐々に車椅子にも慣れて2年半の入院生活の後、退院に向けて準備が始まりました。

実家はバリアフリーには程遠く、車椅子ではとても生活できそうにありません。ちょうど、家業の仏壇製造工場を新築することになり、一角に僕の部屋も作ってもらえる事になりました。そのまま家業の仏壇販売・製造を手伝うようになり、車を購入したのは退院直後でした。一気に行動範囲が広がり、入院時に知り合った友人の家に遊びに行った時、川内の車椅子バスケットボール（以下、イスバス）チーム「川内クーパー」に誘われました。

怪我する前はラグビーをやっていたこともありイスバスを始めてみましたが、目の前にボールを持っている敵がいても触ることすら出来ない状態で苦手なスポーツとなりました。しかし、メンバーが少なくやめる事も出来ず悶々とした気持ちで毎週日曜日に練習していました。

試合の度に負け続け、そのうち悔しい思いを持ち始め、イスバスの魅力にどんどん取り憑かれていきました。「湯の児チェスターズ」を経て2002年、イスバスチーム「薩摩ぼっけもん」を設立。「ハートピアかごしま」をホームコートに本格的に活動を開始しました。経験者がほとんどいない新しいチームですから1勝の壁は厚く、2006年までの期間、勝利はリーグ戦での不戦勝のみ。チーム一丸となって勝利への誓いを立て、練習とミーティングを繰り返しました。初勝利した時には言葉に出来ないほどの感動と勇気をもらいました。現在は順調に成長していき、2011年九州Aリーグ入りができました。今年の目標は全日本選手権出場！！これからも目標に向かってチーム一丸となり練習に励んで行きたいと思います。「薩摩ぼっけもん」は毎週金曜日「ハートピアかごしま」で練習しています。興味のある方は遊びにきてくださいね。

●田中 昌昭さん
南九州市生まれ 44歳
イスバスチーム「薩摩ぼっけもん」所属
車椅子・福祉用具販売
「SS-club(エスエスクラブ)」経営



昨年12月熊本県で開催の「九州車椅子バスケットボール連盟第15回リーグ戦(Bリーグ)」で2勝し優勝。Aリーグ昇格が決まり大喜びの「薩摩ぼっけもん」のメンバー

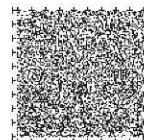
毎週イスバスの練習に励む田中昌昭さん

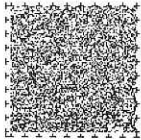
特別障害者手当及び障害児福祉手当等の手当額改定について

	平成22年度	平成23年度
特別障害者手当	26,440円	26,340円
障害児福祉手当	14,380円	14,330円
福祉手当 (経過措置分)	14,380円	14,330円

在宅の重度障害児（者）の特別な負担の軽減を図る一助として国が定める基準に該当する方に支給している特別障害者手当、障害児福祉手当及び福祉手当（経過措置分）について、平成23年度から手当額が左のとおり改定されます。

詳しくは、お住まいの市町村福祉担当課又は県地域振興局・支庁地域保健福祉課、支庁各事務所福祉担当課までお問い合わせください。





KAGOSHIMA バリアフリー最前線 Barrier Free-Saizensen

鹿児島県のいろいろな建物や施設、
あるいは人の心の中にあるバリアが取りはらわれています。
一人ひとりが、より快適で自由な暮らしが営めるように。



江戸時代後期の加治屋町の「武家屋敷」の生活を再現。

●明治維新で活躍した多くの偉人の誕生地がある鹿児島市加治屋町の甲突川左岸緑地に、平成22年3月にオープンした「歴史ロード。維新ふるさとの道」。市民や観光客が歴史を感じながら散策できる新しい空間として人気スポットだ。

2つのテーマが楽しめる「維新ふるさとの道」は、高見橋から南洲橋の上流側に幕末から明治にかけて近代日本の幕開けを再現。石積風の門柱を入ると、薩摩と世界との交流を紹介する円形広場、薩摩磨などを記した時を刻む語らい広場、円形階段デッキなどが整備されている。また

歴史を感じながら
散策できる空間

歴史ロード 「維新ふるさとの道」

(鹿児島市)

住所 鹿児島市加治屋町 甲突川左岸緑地(高見橋～高麗橋)
問い合わせ TEL099-216-1344
(鹿児島市観光企画課)

ホームページ
http://www.city.kagoshima.lg.jp/_1010/kanko/topics/_32141.html



上流側は近代的な石積風の門柱をイメージ。下流側は武家門風のゲートが情緒あふれる。

車いす用に緩やかな
スロープを設置。



安全に歩行できるように、
点字ブロックが歴史ロードを
誘導してくれる。



南洲橋から高麗橋の下流側は幕末維新をイメージしてつくられ、武家門風のゲートや島津日新公いろは歌47首の原文と意訳を紹介する広場、加治屋町で生活した下級武士の屋敷が再現されている。

上流側と下流側にそれぞれ車いす用のスロープがあり、視覚障害者の方が安全に歩行ができるよう点字ブロックも設置。途中、木塀のあるベンチでゆっくり休むことができる。車で来られる方は甲突川右岸の観光交流センターを利用するのがおすすめ。身障者用駐車場や多目的トイレも完備されていて、南洲橋を車いすのまま渡り「維新ふるさとの道」に入ることもできる。夜間はライトアップもあり、幕末維新の薩摩に想いを馳せながら、気軽に散策を楽しめる歴史ロードとなっている。

平成22年度 審査結果

(※鹿児島県が最優秀賞者を決定し、内閣府へ推薦した作品)

～心の輪を広げる体験作文～

○鹿児島県最優秀賞/小学生部門

作品名「そうちゃんがいたから」

霧島市立富隈小学校5年

はやかわ みつな
早川 満晴 さん

○鹿児島県最優秀賞/中学生部門

作品名「祖父へ」

南九州市立頰娃中学校1年

おほほ まりあ
大保 聖亜 さん

※受賞者の写真は「平成22年度 鹿児島県障害者保健福祉大会」での作文朗読時のものです。

～障害者週間のポスター～

○鹿児島県最優秀賞/小学生部門

鹿児島市立武小学校6年

あな さと あやね
船迫 彩寧 さん



※受賞者の写真は「平成22年度 鹿児島県障害者保健福祉大会」の表彰式のもの。

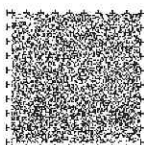
心の輪を広げる 障害者理解促進事業

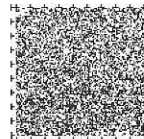
障害の有無にかかわらず、国民誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会を目指し、障害者に対する理解促進を図るため「心の輪を広げる体験作文」と「障害者週間のポスター」を、内閣府並びに都道府県及び指定都市の共催で、毎年度公募しています。

「問い合わせ先」

鹿児島県 保健福祉部 障害福祉課

TEL099-286-2111 (内線2746)





鹿児島県からの お知らせ



鹿児島県精神保健福祉センターが移転しました

鹿児島県精神保健福祉センター及び同センターに設置されている高次脳機能障害者支援センター、自殺予防情報センターは、平成23年3月4日(金)、ハートピアかごしまの2階に移転しました。

移転先 〒890-0021 鹿児島市小野一丁目1-1 (ハートピアかごしま2階)

電話番号	精神保健福祉センター	099-218-4755
	高次脳機能障害者支援センター	099-228-9568
	自殺予防情報センター	099-228-9558

鹿児島県身障者用駐車場利用証制度 (パーキングパーミット制度) について

身障者用駐車場
(パーキングパーミット制度)

この身障者用駐車場は、鹿児島県発行の身障者用駐車率利用証を、お持ちの方が利用できます。

左の表示のある身障者用駐車場は、県の発行した利用証(基準に該当する方に交付されます。)がないと使用することができません。

車の乗り降りのためにドアを全開にしなければならない方、歩行困難によりできるだけ建物に近い位置に駐車を必要としている方など、この駐車スペースを本当に必要としている方が利用できるよう鹿児島県身障者用駐車場利用証制度への協力・理解をお願いします。

問い合わせ先

県庁障害福祉課地域生活支援係
TEL (099) 286-2746 FAX (099) 286-5558



Vol.21 平成23年3月31日発行

[感想をお寄せください]

鹿児島県保健福祉部障害福祉課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
TEL.099-286-2111(内線2746) FAX. 099-286-5558

[E-mail]shougai@pref.kagoshima.lg.jp

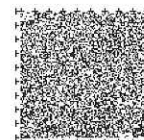
[URL]http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/syogai-syakai/index.html

営利を目的とする場合を除き、この本をそのまま読むことが困難な方のために、「録音図書」「拡大写本」等の読書代替物への媒体変換を行うことは自由です。製作の後は上記障害福祉課へご連絡ください。

視覚に障害を持つ方のために、本誌の点字版及び録音図書を鹿児島県視覚障害者情報センター(鹿児島市小野一丁目1-1 ハートピアかごしま3F TEL.099-220-5896)に備え付けてあります。

[SPコード]について

ページの隅に置かれている、四角い黒い点々を[SPコード](音声コード)といいます。この18ミリ四方の一つのSPコードのなかに、日本語で約800字のテキスト情報を格納することができ、専用の読み取り機でSPコードを読み込むと、そのページの内容を音声で読み上げることができます。なお、視覚に障害のある方にもSPコードの位置が分かるように、ページの縁に切り込みを入れています。



古紙製再生紙を使用しています